

総合的な学習の時間

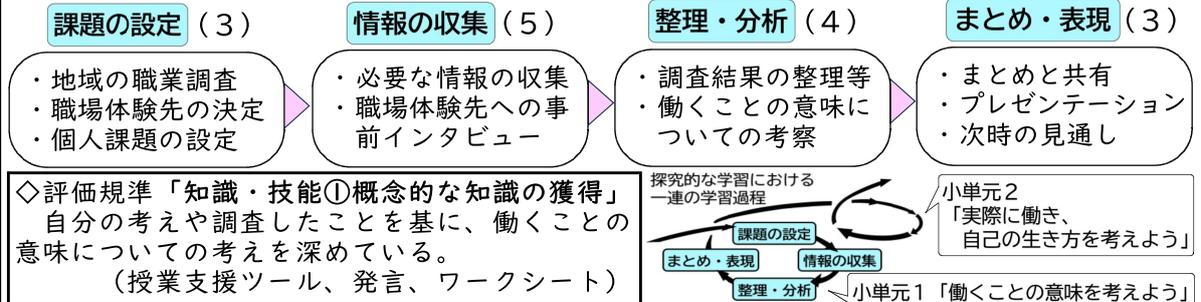
令和7年度 授業改善のポイント

- 1 設定した評価規準を学習活動における具体的な児童生徒の姿として描き出した上で、期待する資質・能力が発揮されているかを把握し、学習状況の評価や指導の改善を行う。
- 2 自らの学びを自覚し、次の探究活動につなげられるよう、振り返り活動を充実させる。

資質・能力の育成に向けた指導と評価の充実

【指導事例】小单元1「働くことの意味を考えよう」（中学校第2学年）

◇小单元1の指導計画（ ）内は配当時間 ※本事例で取り上げる学習過程は整理・分析です。



◇評価規準「知識・技能①概念的な知識の獲得」
自分の考えや調査したことを基に、働くことの意味についての考えを深めている。
(授業支援ツール、発言、ワークシート)

ポイント1 グループで学習を進め、教師がグループを分担して指導する場合、「児童生徒のどのような姿を見取るか」について教師間で共有することが大切です。

働くことの意味と、働く人の思いや姿とを結び付けて考えられるようにしたいですね。

働くことの意味について新たな視点に気付いたり、集めた情報を関連付けて考えたりできるといいですね。

◇評価の場面 【授業支援ツール】

	Aさん			Bさん			Cさん		
単元導入時	お金のため	誰かのため	自分のため	お金のため	誰かのため	自分のため	お金のため	誰かのため	自分のため
生活	お客さん	趣味		生きるため	地域活性	好きなこと	収入を得る	客	地
貯金	暮らしを支える			子供の教育	消費者	観光客	家族	市	
調査活動後	将来	満足・笑顔	理想の生活	自立	幸せ	自分を成長させる	安定	喜び	
	やりがい	SDGs 環境問題	社会とのつながり		地域を元気に	やりがい		公共の場	地域貢献

【グループでの話し合いの一部】

「誰かのため」とは、直接触れ合う人のためだけだと思っていただけ、環境問題の解決に取り組んでいる企業もあって、直接触れ合う人以外にもつながっていることが分かった。

「誰かのため」や「社会のため」に働くことには、目的や対象が違うけれど、「貢献する」という共通点があるね。

趣味や生活を充実させるためにはお金が必要だから、「自分のため」に働くことは「お金のため」に働くことと同じだね。

ICT 着目する視点ごとに付箋を色分けしたり、同時編集機能を活用したりすると、情報の整理や分析、考えの共有が容易になり、学習状況を効率よく把握することができます。

ポイント1 児童生徒の学習状況（本事例では、調査活動後の付箋や話し合いでの発言、ワークシート）から理解の深まりを見取って評価します。理解の深まりが十分でない場合は、着目する視点を示した上で、集めた情報を再確認するよう促すなど、適切な指導や支援を行います。

Bさんの「自分のため」の視点に「自分を成長させる」「やりがい」という付箋が付けられています。Aさんが事前インタビューした工務店の方のお話の中に、この意見に関連することはありませんでしたか？ インタビューで聞いた話やグループでの話し合いを基に「自分のため」に働くことの意味について考えてみましょう。

【Aさんのワークシートより】

工務店の人が、「常に新しいことを学び、自分たちの腕を磨いている。」「依頼主から『満足した』と言われることがうれしい。」と話していた。「自分のため」に働くことの意味には、収入を得るためだけではなく、自分を高め、誰かの役に立つことで得られる「達成感」や「やりがい」のためという側面もあると考えた。

ポイント2 自らの学びや学習方法に対する評価、次の学習目標などの視点を与え、振り返りの質を高めます。

振り返りの視点（例）

- ・気付いたことや変化した考えは何か。
- ・どのようにして考えを深めたか。
- ・次は何をどのように学びたいか。

今日考えた「仕事のやりがい」を実際の職場体験活動の中で見付けたいな。

〈情報〉 指導計画の基本的な考え方や具体例、学習評価の方法、優れた実践事例を取り上げた資料を見ることができます。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm



「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」
(文部科学省)